

第5回森町総合計画審議会における委員からの意見一覧及び対応表

通番	分野	ページ	意見	町の対応について
1	基本構想	2	まちの将来像、「調和」の説明中、一行目にだけ「。」があるのは何故か、他と違う意味を持たせているのか	詩的な文章であることから、書体を変更しています。また、改行等を行い、読みやすい表現に修正しています。
2	基本構想	2	「森」という単語が多々出てくるが、それぞれ何を指すのか（森町か、一般の森か分からない箇所もあると思われる）	森は、森林のことを意味しています。また、“森”の“ ”を外すことで、森町ではなく森林であることを理解できるように修正しています。
3	基本構想	2	「心和らぐ森町」についている外側の括弧の意味あいについて	心和らぐ森町のみ括弧で、外側の括弧については削除することで対応しています。
4	序論	3～5	年号西暦の関係の整合（特にグラフ）、計画期間（10年）を考えると西暦表示に統一した方がいいのでは	西暦表示に統一すると同時に和暦については括弧書きで記入することで対応しています。
5	基本構想		「とりくみ」の漢字表記が混在しているので、取り組みと送り仮名にあわせたほうがいいのでは	県発行の文書事務の手引を参考に対応しています。基本的な考え方として、①取組（慣用語、名詞的用法）、②取組み（体言として）、③取り組み（連・動詞として）として表現しています。
6	基本構想	4～6	「基本の柱」の文章でわかり難いところがあるように思う 例えば、柱1のなか、～安心して暮らし続けられる社会環境～とか、～元気な高齢者が多くいるということ～など	基本の柱1から6までの内容について確認し、簡潔で読みやすい、理解しやすい表現に修正しています。 ・暮らし続けられる→暮らすことのできる ・元気な多くいるということ→削除 等で対応しています。
7	基本計画	13～14	①現況・動向の文中、豊かな人間性の向上が求められる、といってるが、P14のなかで対応する施策がみられないのでは	13ページの「基礎的な生活習慣を身につけるとともに、奉仕活動や体験学習などを通じて、豊かな心や社会の一員としての自覚を育む教育を推進します。」という記載により対応しています。学校教育を学校内に閉じずに奉仕活動や体験学習を行うことで実現していきたいと考えています。 なお、対応する現況・動向欄の前段の表記を次期学習指導要領に沿って、「社会において自立的に生きるために必要な「生きる力」を育むとともに」に修正します。
8	基本計画	13～14	1）幼児教育・学校教育の充実の＜主な事業＞として、英語教育推進事業とあるのは結構なのだが、そもそもの国語力の低下がみられるなか、その方の対応も必要ではないか	14ページの施策の方向内の「・基礎・基本の学習習得～」についての表記を、国語力の重要性を踏まえつつ、次期学習指導要領に沿い、次のように修正します。「すべての学力の基本となる国語力を大切にしながら、アクティブラーニングの視点から授業を見直し、主体的・対話的な深い学びの実現を目指します。」
9	基本計画	15～16	1）文化活動の振興のなかで、特に無形文化財の伝承者の育成支援というような形が必要ではないか（お願い）	15ページの現況・動向内で、「森町には…（中略）…「遠江森町の舞楽」（小國・天宮・山名）…（中略）…生活の中に息づく文化として引き続き継承し、活用していくことが求められています。」とあり、また、16ページの主な事業内で、「森町歴史・伝統文化保存会の結成支援」で、町並みや伝統芸能など、町民の力で保存活用させるための保存会を結成。また、その活動への情報提供や財政・労力面への支援をしていくこととしています。 新たに、施策の方向内で「文化財伝承者」を追加しています。
10	基本計画	23～24	現在、国策としてインバウンドツーリズムが進められているなか、町でもそういう事をうたった観光振興が必要では	23ページの現況・動向内に、「富士山静岡空港周辺市町による広域連携での観光振興を促進し、国内外からの交流を通じた町の活性化が求められています。」に追加修正しています。 24ページの施策の方向内に「また、インバウンドを意識した観光・交流を推進します。」を追加しています。

11	基本計画	23～24	年間110万人の観光客をどうかすかもっと具体的な施策があるのでは	24ページの施策の方向内に、「、さらなる誘客を図ります。また、まちなかの回遊性を高め、観光客が長時間滞在するための取組を図ります。」を追加しています。
12	基本計画	19～20	町の人口減少対策が最大の課題という認識のなか、最も大事なのは宅地の増加だともう（計画書にそう書いておくべき）	19ページの現況・動向内に、「地方創生の推進、人口減少化対策として、積極的に住宅用地の確保を図る必要が求められています。」を追加しています。 20ページの施策の方向内に、「土地の有効利用を促進するとともに、優良な住宅地を供給するため、民間活力を含めた住宅用地の確保を図ります。」を追加しています。
13	基本計画	29～30	施策の方向の4）工業の振興・企業誘致の内容として、「内陸フロンティア」の推進において、町内に3つの区域指定（森町PA周辺、森掛川IC周辺、中下工業専用地区）があり、これを最大のチャンスとした、もっと期待感の持てる表現（内容）がほしい	内陸フロンティアを含めた企業誘致は重要であることから、基本計画の体系内において、新しい基本方向を追加することで対応しています。 30ページの施策の方向内に、「内陸のフロンティアを拓く取組による企業立地環境の整備と企業誘致活動の強化を図ります。」に追加修正しています。
14	基本計画	35～36	1）地域防災力の強化のうち、消防団の充実が一番要であると思う　だが以前と比べ「自分達のまち自分たちで守る」といった意識の低下、団員のサラリーマン化が進んでいるので、家族の理解や、もっと団員になることへのインセンティブ（家族に対して）があると思う	いただいた意見につきましては、総務課防災係に情報提供しています。
15	基本計画	21～22	どこかに「SNS活用した森町の情報発信」といった内容があるとよいのでは	22ページの施策の方向内に、「官民一体となってSNSを活用した情報発信を推進します。」という文面に追加修正しています。
16	基本計画	27～28	施策の方向2）林業の振興の主な事業として有害鳥獣対策があるが、1）農業の振興の事業ではないのか（両方記載してほしい）	農業・林業の両分野に関係する事業と考えます。今回の計画においては、再掲という表現は極力しない方向で考えていますので、農地を守るという視点から、農業の振興内に事業を掲載しています。 今後の進行管理については、両分野からの視点で対応していきたいと考えています。
17	基本計画	27～28	認定農業者等の目標指標のみ減っていく値というのは気になる なお、（農業の）一番の問題は茶業の振興だと思われる	27ページの現況・動向内に、「森町は、上級茶の産地として知られており、お茶の町として急須でお茶を飲む町づくりを進めています。近年、茶価は低迷しており、価格の安定や高付加価値化に向けた取組が求められています。」を追加しています。 28ページの施策の方向内に「茶業振興については、品質の向上や茶園の共同管理の推進、加工用等ニーズに合った低コスト製造技術の普及、輸出に向けた生産体制の確立を図ります。」を追加しています。
18	基本計画	23～24	森町ブランドの記述にあわせて「森町之賦」の表現を入れたらどうか	23ページの現況・動向内に「その由縁は、近代の森町の情景を詠んだ「森町之賦」によるものです。」を追加しています。